

木材価格の見通し

現在木材価格は現在ほぼ横ばいです。しかし全ての樹種で強含みです。そして来年度以降は値上がりすると思います。値上がりすると言ってもどれ位上がるかは解りません。

価格は需要と供給のバランスによって決定されます。日本は今までは供給よりも旺盛な需要によって価格が上がってきました。しかしこれからは違います。供給側からの圧力によって価格が上がると私は思っています。

(木材資源も世界的に取り合いになっている)

例えばアラスカ産の代表的な樹種のスプルース材は今現在の建具材及び造作材の我々の販売価格はほぼ横ばいですが、近い将来値上がりは必死です。その理由は国内の木材需要が低迷している為にたくさん輸入出来なくなってきたのです。スプルース原木を輸出するアメリカ・アラスカ州の針葉樹木材輸出会社シーアラスカ社はスプルース原木だけを日本向けに販売しているのでは有りません。米スギ・米ヒバ・米ツガ等と抱きあわせにて売ってくれているのです。単品の販売はしませんし継続取引が可能でない業者以外は販売しません。その為輸入業者は凄いいリスクを持ってやっているのです。しかしその輸入業者も去年の六月の建築基準法の改正以降信用リスクに対して凄く気を使っており与信管理が厳しくなっています。その為今までのように思惑(多分売れると思う)で決して買い付けをしません。各営業スタッフが日本のマーケットを小まめに調査しそして必ず売れる量以外は輸入しないと思われまます。

又日本の買い付け量が減る事は価格決定の権利を放棄することにも繋がっています。対日本向けの割合がどの樹種も50%を切ってきているのです。そしてその表れとして大変な品不足に陥りかけています。

凄くタイトになっている木材の種類は、北米針葉樹ではピーラー(目細の米マツ)・米スギ(特にライトカラーの良材)・米ツガ、南洋材ではペルポック・メラピー・ジェルトン・ニヤトー・チーク等数え切れない位有ります。そしてスプルース・米ヒバ・アガチス等も先々は凄くタイトになると思います。

ところでお客様から安くて良い材は何か無いですかと度々お聞きするのですが、そう言う物は確かに今までは少しはありました。しかしそれは浮き玉と言ってフローしている国内在庫なのですが、今フローしている国内在庫は非常に少なくなっています。**【フローしている玉が極端に少なくなっています】**

我々材木屋もある程度先の事を読んで仕入れしてきましたが、昨今の状況が悪すぎて先を読んで仕入れをする事は資金的に不可能になって来ています。又お客様の為に在庫してきた商品も売れ行きが悪いから今は入らないと言われても頑張っって辛抱して来たのです。しかしこれも限界にきています。それが材木屋の倒産の増加に繋がっていると思います。この資金繰りの悪化は何処の材木屋も一緒だと思います。

これからは今までみたいに在庫機能を発揮し価格変動を少しでも抑える事は大変しにくいと思います。それだけ資金繰りが凄く悪くなっているのが今の木材業界全体の事だと思います。

輸入業者が扱い量を減らし、又我々材木屋が価格変動を抑える在庫機能が少なくなれば自然と価格上昇は避けられないと思います。

我々日本には国産材のヒノキ・スギが大量に有ります。それを有効利用しようと試みています。しかし国産材で賄える部材と賄えない部材が有ります。賄えない部材は当然輸入に頼らざるを得ません。其の時に如何に諸外国より高く買い付けが出来るのか、出来ないのかでマーケットから無くなる商品は少しずつ出てくると思います。

原木は良材から下材まで有ります。例えば服部商店で製造しているスプルース原木は上級材の製品は、ツギ板用フリッチ、中間材は造作用材、下級材は木工用材と振り分けて今まではお客様に満足していただきました。

しかし今の日本のマーケットは大手業者の圧力により買い手有利の構造になっています、しかしこれからはもう少し生産者・供給者の事も考えて欲しいと思います。

建築士さんも設計する時、材木屋も漁業者と同じように追い込まれていることをご理解して工夫した住まいの設計をして欲しいと思います。

ローテクがハイテクに勝ちます

今年の北海道洞爺湖サミットで地球温暖化防止の為の議論が行われました。2050年までに現在排出しているCO₂を50%以上減らす取り組みです。その中には自然エネルギーをもっと利用するとかCO₂を出さない原子力発電所を新規に建て劇的にCO₂削減をしようと言う事です。又新しい技術革新を促進し省エネルギー商品を新しく開発し地球環境に優しい低炭素社会を目指していこうと言う取り組みです。

こう言う取り組みは所謂ハイテクの取り組みです。しかし人間環境、特に住まい作りはハイテクで全ての問題の解決が果たして出来るのでしょうか。屋根に付けるソーラーシステムを利用して自家発電の電力で家の電気を賄うのも一つの手段だと言えますが、私は見逃しているひとつの大事な事が有るのではと思います。それはハイテクばかりを追うのではなくもっとローテクを使用出来ないかと言う事です。

ローテクでも大幅なCO₂排出を抑制することが可能なのです。ローテクとは無垢の木材を多く利用する事です。無垢の木材を使用するとCO₂の大幅な抑制に繋がります。私の家で体感しました。

下の写真は私の娘の部屋ですが内装材は全て無垢材です。この無垢が見事にCO₂の増加を抑止したのです。左の写真が以前のハイテク仕様の以前の部屋です。右が現在のローテク仕様の部屋です。

私は娘の部屋の改装を当初はCO₂を抑制する事は想定していませんでした。しかし改装してから三年が過ぎました。電気の使用量が凄く減っているのです。真夏大阪は熱帯夜になります。以前は一晩中クーラーを入れなかったら過ごせませんでした。今は12時にタイマーを切るようにセットしています。12時にスイッチが切れても朝起きる6時まで冷気が保っています。凄く健康にも良いし電気代も節約出来ました。冬場も夏場と同じく暖房の温度設定を低くしても寒くは無いのです。凄い発見でした。

ところで何故無垢の木材がCO₂の排出削減に繋がっているかを考えました。それは無垢の木材が呼吸し生きているから夏場涼しく冬場暖かい環境を生み出したと考えました。本物の無垢は暑さ寒さを見事にコントロールし我々に快適な空間を提供してくれたのです。

現在の住まいに多く使用されているハイテク内装材『壁に貼るクロス（石油から出来ています）・エンビシート（石油が主な材料です）ツキ板を張った建材』は本物の木では無いので呼吸しません。その為に暑さ寒さの調整機能が無いのです。

私の試みは結果的に内断熱の効能が有りました。

ハイテクの工業化建材類の部屋



ツキ板を張った天井

ローテクの無垢の部屋



アガチス無垢天井





石油から出来たクロスの壁



米ヒバ無垢壁板



工場生産された畳



アルダー材無垢フローリング

材木屋の仕事とは

材木屋とは木材の目利きするのが本来の仕事です。目利きとは仕訳することが主な内容だと思います。しかし最近の木材を扱っている者は本来の仕事を忘れてるように思います。

服部商店が主力で扱っている雑木屋(ぞうきや)と言うジャンルでは、原木を見る能力の有る人間と製材が出来る能力のある人間が大変不足してきています。板は誰でも直ぐ理解出来取り扱いは出来ます。しかし良い板がどう言う工程を踏んで出来ているのかが理解出来ていません。どうしたら良質の板をお客様に供給出来るのかと言う極当たり前の事が出来ていません。

これからは原木の質の低下は絶対に避けられません。避けられないのだったら如何にすべきかと言う視点が欠けています。私は何も特別の事はしていません。当たり前の事を当たり前にしているだけです。良い原木に出会う時も有ればそうでない場合も有ります。しかし決してお客様に満足を頂けない商品作りだけはしていません。損する原木に出会った時はある程度は損を少なくする無理した木取りはします。しかしこの作業は悪い板を作るのではなく如何にして良質の板を取るかと言う作業です。この作業は凄く手間が掛かります。普通の倍は掛かります。しかし少しくらいの手間を惜しんでいたらお客様に良い材の提供は出来ません。

私は別紙に私の経験してきた約30年と私の亡き父亡き祖父に教えられてきた事つまり服部商店のノウハウを一問一答としてクイズ形式で皆様にはわかり易くご説明します。80年の歴史の集大成でも有ります。企業秘密の部分も有ります。しかし企業秘密でも技術者、機械設備、場所等のノウハウ全てが揃ってなかったら真似できないと思います。ここに書いてある事は全て当たり前の事です。この事を実行しているだけです。答える方が材木屋なら全問正解で当たり前だと思います。是非挑戦して下さい。

答えは別紙に有りますので参考にして下さい。詳しい解説も付いています。

本当のアメリカ材針葉樹の話と将来は

現在までアメリカ産針葉樹が日本でかなりの量が流通していますが、何故アメリカ産針葉樹がこれほどまでに流通しているかを知っている方はそれほど多くないと思います。

戦後日本はアメリカのお陰で高度経済成長を成し遂げました。日本から車・カメラというハイテク商品が輸出されました。そして凄く多くの外貨を獲得しました。しかしアメリカへの輸出一辺倒ではアメリカは面白く有りません。

アメリカが持っている最大の外貨獲得手段は当時一時産品でした。それが農産物と林産物です。日本国内に凄く多くの木が有るにも拘わらずアメリカから買わされてきたのです。木材の対外国向けの関税の全面撤廃が早かったのはアメリカからの圧力だったのです。

しかしアメリカからの輸入された針葉樹木材は使い勝手が凄く良かったからマーケットは国産材からアメリカ材に変わったのです。確かに圧力が掛かったのは事実ですが、それを見事に使いこなしたのが我々木材業者の知恵だったと思います。

アメリカ産針葉樹材を抜きに住まい作りは出来ません。国産のスギ・ヒノキを主な住まいの部材として使いこなすのがこれからの住まい作りですが、国産針葉樹だけでは快適な住まい作りは難しいと思います。アメリカ産材も国産材も適材適所に使うのが正しい使い方だと思います。

構造材のうち柱・土台等は国産針葉樹を使うのが正しいと思います。梁はアメリカ針葉樹の米マツが良いと思います。

【注文住宅は金銭的に有る程度ゆとりが有るので対象では有りません。ここで取り上げるのは分譲住宅のケースです。分譲住宅の方が注文住宅より多くのマーケットがあるのでそれを対象にした木材の使い方です。】

先月号アンケートの結果報告(構造材にスギ・ヒノキを使用しますか?)

先月号でアンケートを御願いいたしました。私のこのアンケートに対する質問『何の目的のアンケートですか?』が来ていましたのでまず先にお答えします。

このアンケートの狙いは本当に正しく国産の木材が使われているのかを知りたかったからです。現在日本全国にあるプレカット工場に於ける使用構造材はEW(エンジニアウッド)が主流です。しかし建築士さんからの答えは99%以上国産材を使っていますと言うお答えでした。

何故こんなに違いが発生するのか私は不思議に思います。先々月号で取り上げた記事で世界的に有名な建築士のお弟子さんが、私の近所で大掛かりなリフォームをした現場(注文住宅と同じジャンルの建物)でもEWが使用されていました。

ある建築士さんは仰っていましたが、本当の注文住宅は少ないのです。圧倒的に分譲住宅(建売り住宅)が殆どで我々建築士の連中も設計料をお施主様から貰うよりデベロッパーから貰っているのが本当に多いのです。従って売れる値段から逆算して家一軒分の価格が幾らでなかったら商売に結びつかないので仕方なくEWを使わざるを得ないのです。

私は毎月建築士さんとの勉強会を重ねています。その中でスギ・ヒノキを使っても十二分にデベロッパーの採算が合う建築は出来ると言われる建築士さんからの話を承っています。

そしてスギ・ヒノキを使う事は差別化でもなく本当の日本の住まい作りでは当たり前の事だと重ねて言われていました。しかし問題はそれだけの事を知っている建築士が少ない事が問題で有って服部さんは、我々建築士は何も知らないから材木屋のプロの目で見ると本当の話をしっかり教えて欲しいと励まされる事も有りました。

木材の見方（初心者用）

1、 買い付け時原木の新鮮度が一番大事である。

はい

いいえ

2、 少し姿の悪い元木より姿の美しい二番玉の方が良い。

はい

いいえ

3、 芯の締まりが大事である。

はい

いいえ

4、 産地が一番大事な要素である。

はい

いいえ

5、 木味（きあじ）という言葉が有るがそれは色で有る。

はい

いいえ

6、 材によって適切な伐採時期がある。

はい

いいえ

7、 人工乾燥は天然乾燥より良い。

はい

いいえ

8、 本木（ほんき）を無視して製材しても良い。

はい

いいえ

9、 硬い木は割れやすい。

はい

いいえ

10、 良い原木は総じて軽い。

はい

いいえ

11、 板がバンドルに梱包されています。外観だけで大体の中身を知る術はある。

はい

いいえ

12、 板の干し方で製材工場の良し悪しは解る。

はい

いいえ

13、 皮を付けたまま製材してもさほど問題ではない。

はい

いいえ

解答

1、 はい

鮮度が落ちるほど歩留まりが悪くなります。木の良し悪しを決定する要素で一番優先することです。

2、 いいえ

少し姿の悪くても元木が一番良い。極端に元が張りすぎている場合を除き元一番玉が最高の品質です。

3、 はい

芯の締まりの良い材は節が一般的に少ない。

4、 はい

産地によって材質は凄く変わる。

5、 はい

木味は色です。

6、 はい

広葉樹は葉が落葉してから伐採しないと木口(こぐち)からアクが出たりして色合いが落ちる場合がある。

7、 いいえ

天然乾燥で乾かした材と人工乾燥で乾かした材を比較する場合人工乾燥材の方が木取りするときソリが出やすいし又表面硬化がしやすい。

8、 いいえ

本木とは曲がりを見る事です。曲がりを逆に製材すると乾燥する道中板が曲がったりする。

9、 はい

硬い材質の樹種は表面割れが起こりやすい。

10、 はい

良い原木は中に有るキズ(節等)が少ない為に軽い。

11、 はい

板が真っ直ぐでない材が混じっている梱包を見れば何となく崩れているように見えます。

12、 はい

板は干し方によって凄く形状変化が起こります。良質材でも干し方が悪ければ品傷みます。良い商品を生産する工場は板の干し方も一流です。

13、 いいえ

皮を剥いて製材するのは鋸肌の良い商品を作る事ですが、皮を剥くと欠点が見やすく良い製材品を作りやすい。